

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 19日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良市大安寺6丁目20番8号

氏 名 株式会社きんでん奈良支店
執行役員支店長 安田 守

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0742-62-8771

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社きんでん 奈良支店
事業場の所在地	〒630-8133 奈良市大安寺6丁目20番8号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D08 設備工事業
② 事業の規模	2023年度 完成工事高 84億円
③ 従業員数	215人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出した産業廃棄物の処理は中間処理業者、最終処分業者に委託している。 中間処理業者により中間処理施設にて選別・破碎処理、リサイクルに可能なものはリサイクル化し、リサイクルできないものは、最終処分業者により埋立処分が行われる。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	排出量	39.52 t	1156.04 t
	(これまでに実施した取組) 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	排出量	30 t	1000 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	全処理委託量	39.52 t	1156.04 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	39.52 t	1156.04 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	がれき類
	全処理委託量	30 t	1000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	30 t	1000 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	排出量	12.643 t	55.068 t
	(これまでに実施した取組)		
発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	排出量	10 t	50 t
	(今後実施する予定の取組)		
上記の取組みを更に推進する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
	全処理委託量	12.643 t	55.068 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	12.643 t	55.068 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の最終処分率を確認する。			

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		10 t	50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		10 t	50 t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。				
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	排出量	11 t	0.63 t
	(これまでに実施した取組) 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	排出量	10 t	0.5 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	全処理委託量	11 t	0.63 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	11 t	0.63 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	全処理委託量	10 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10 t	0.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	排出量	0.63 t	0.5 t
	(これまでに実施した取組) 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	排出量	0.5 t	0.4 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	全処理委託量	0.63 t	0.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.63 t	0.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃電池類
	全処理委託量	0.5 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.5 t	0.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 別紙2

氏名又は法人名	株式会社きんでん奈良支店	担当者氏名	
報告者所属部署		電話番号	

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)	(第3面)			(第4面)	(第4～5面)			
		排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量 (自動計算)	(委託先の区分別の処理委託量)		
							優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者
1 管理型混合廃棄物	前年実績	39.52t					39.52t		39.52t	
	計画	30.00t					30.00t		30.00t	
2 がれき類	前年実績	1,156.04t					1,156.04t		1,156.04t	
	計画	1,000.00t					1,000.00t		1,000.00t	
3 廃蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)	前年実績	12.64t					12.64t		12.64t	
	計画	10.00t					10.00t		10.00t	
4 廃プラスチック類	前年実績	55.07t					55.07t		55.07t	
	計画	50.00t					50.00t		50.00t	
5 木くず	前年実績	11.00t					11.00t		11.00t	
	計画	10.00t					10.00t		10.00t	
6 廃油	前年実績	0.63t					0.63t		0.63t	
	計画	0.50t					0.50t		0.50t	
7 ガラスくず	前年実績	0.63t					0.63t		0.63t	
	計画	0.50t					0.50t		0.50t	
8 廃電池類	前年実績	0.50t					0.50t		0.50t	
	計画	0.40t					0.40t		0.40t	
9	前年実績									
	計画									
10	前年実績									
	計画									

(別紙)